

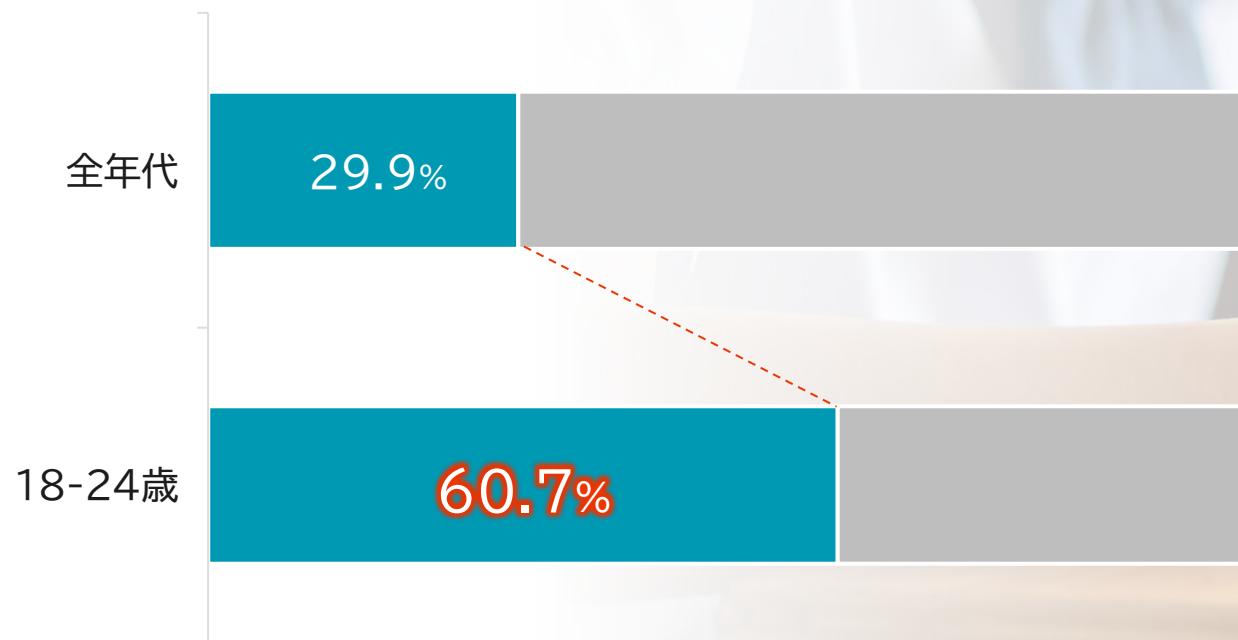
2025年8月

「住まいと資産形成に関する意識と実態調査」(2025年)より

すそ野が広がる金融教育

—18-24歳における金融教育受講経験率は6割以上—

図表1,2より 年代別 金融教育受講経験率



三井住友信託銀行
三井住友トラスト・資産のミライ研究所
研究員 清永 遼太郎

1. 調査名：「住まいと資産形成に関する意識と実態調査」(2025年)
2. 調査対象：全国の18～69歳 ただし関連業種(金融、調査、マスコミ、広告)従事者を除く
3. 調査方法：WEBアンケート調査
4. 調査時期：2025年1月
5. サンプルサイズ：11,435
6. サンプルの属性(年代別)

18－29歳	2,103
30－39歳	1,944
40－49歳	2,443
50－59歳	2,707
60－69歳	2,238

7. 備考：図表は端数処理の関係上、合計で100%とならない場合があります

1

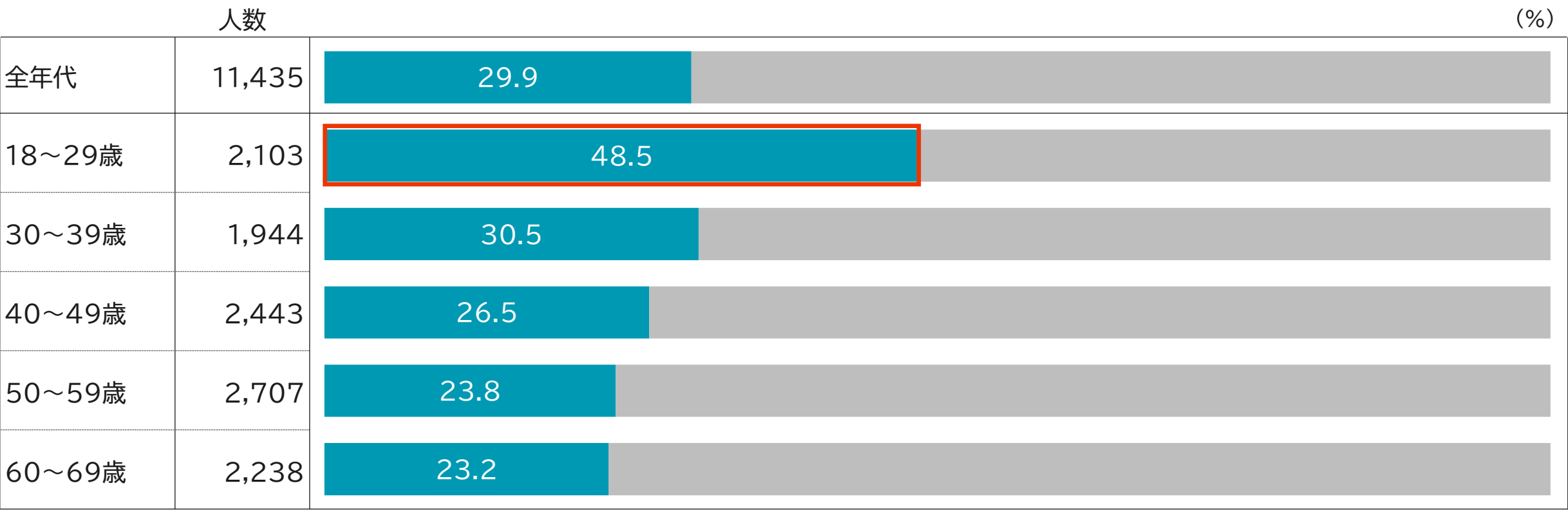
金融教育の受講経験

- 金融教育の受講経験率は若年層ほど高く、18-29歳では約半数が経験
- 20代前半では、6割以上が金融教育受講経験あり
- 若年層における金融教育受講時期は中学・高校がメイン
- 18-21歳では、中学・高校での金融教育受講経験率が顕著に高い

金融教育の受講経験率は若年層ほど高く、18-29歳では約半数が経験

- 金融教育の受講経験率はおよそ3割
- 若年層ほど高い傾向。20代では48.5%と他年代と比較して顕著に高い

図表1 年代別 金融教育受講経験率※

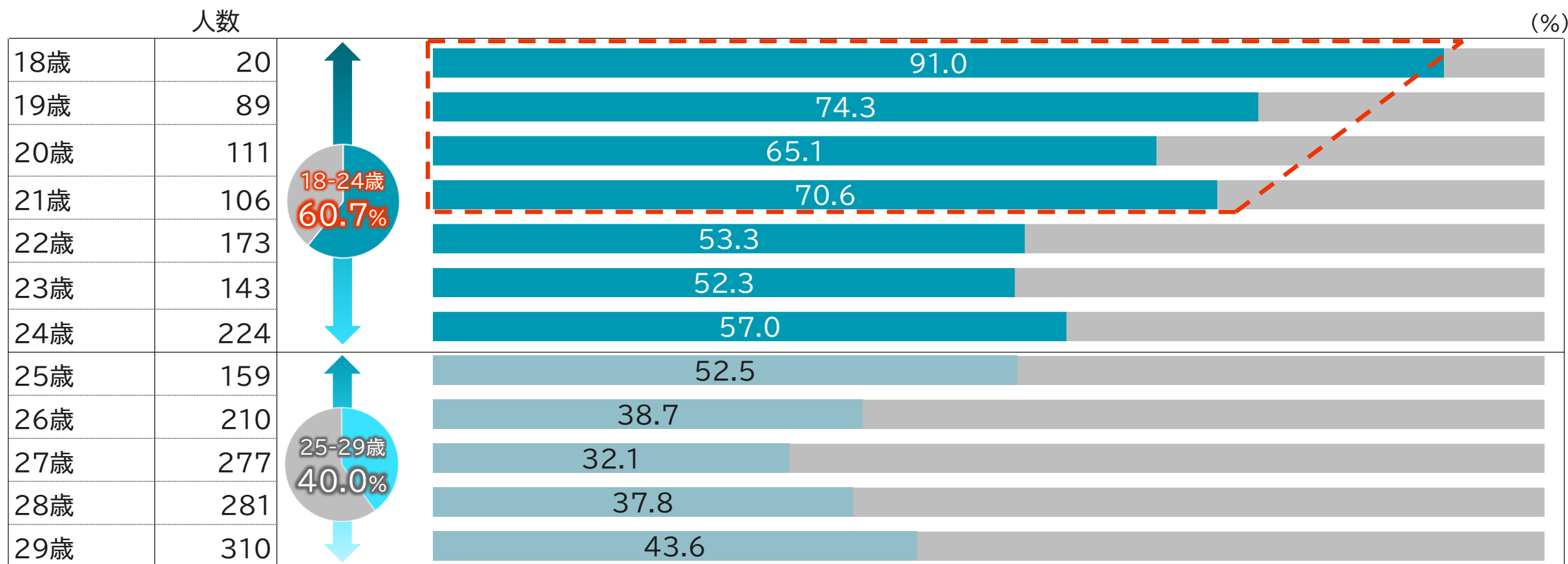


※ 設問「あなたは、これまでに学校や職場でお金についての授業・教育を受けたことはありますか。受けたことのある時期をすべてお選びください。」に対し「これまでにそのような授業・教育を受けたことはない」以外の回答をした人
© SUMITOMO MITSUI TRUST BANK, LIMITED All rights reserved.

20代前半では、6割以上が金融教育受講経験あり

- 25-29歳の受講経験は40.0%に対し、18-24歳は60.7%。特に18-21歳で顕著に高い傾向であり、18歳では約9割の回答
- 2022年の学習指導要領改訂により、高校での金融教育授業が拡充した影響と推察

図表2 年代別 金融教育受講経験率※



※ 設問「あなたは、これまでに学校や職場でお金についての授業・教育を受けたことはありますか。受けたことのある時期をすべてお選びください。」に対し「これまでにそのような授業・教育を受けたことはない」以外の回答をした人
© SUMITOMO MITSUI TRUST BANK, LIMITED All rights reserved.

- 若年層は、学生時代の金融教育受講経験率が顕著に高い。特に中学生・高校生の時期に学んだ割合が高い
- 一方、社会人(働き出してから)の金融教育受講経験は、年代による大きな差がなく15%前後

図表3 年代別 金融教育受講時期 ※複数回答可

								(%)
人数		小学校に入る前	小学生	中学生	高校生	短大生・ 大学生・ 大学院生・ 専門学校生	社会人 (働き出してから)	これまでに そのような 授業・教育を 受けたことは ない
全年代	11,435	1.0	5.7	5.8	8.8	5.4	15.6	70.1
18-29歳	2,103	2.1	14.0	15.2	21.4	12.9	15.3	51.5
30-39歳	1,944	0.8	5.9	5.6	7.7	6.0	17.1	69.5
40-49歳	2,443	1.1	5.1	4.1	7.0	4.5	15.8	73.5
50-59歳	2,707	0.6	2.9	3.4	5.3	2.8	14.4	76.2
60-69歳	2,238	0.4	1.7	1.8	4.3	2.0	15.7	76.8

18-21歳では、中学・高校での金融教育受講経験が顕著に高い

- 特に18歳から21歳では、中高生で学んだ人の割合が全体平均よりも2割以上高い結果に
- 18歳ではおよそ3人に2人が高校生で金融教育を受けたと回答

図表4 年代別 金融教育受講時期 ※複数回答可

人数

18歳

20

小学校に入る前

0.0

小学生

8.3

中学生

36.1

高校生

64.2

短大生・
大学生・
大学院生・
専門学校生

18.6

社会人
(働き出してから)

0.0

これまでに
そのような
授業・教育を
受けたことは
ない

9.0

※赤字は、全年代平均より
20%以上高いスコア

20歳

111

4.7

19.0

30.9

37.2

28.3

3.1

34.9

21歳

106

3.4

28.3

26.4

41.7

23.1

8.4

29.4

22歳

173

1.9

15.9

22.5

28.5

14.0

6.0

46.7

23歳

143

0.0

14.4

16.8

25.1

16.4

13.2

47.7

24歳

224

5.3

18.3

15.0

20.3

20.9

16.9

43.0

25歳

159

2.1

16.6

21.7

22.3

3.4

16.5

47.5

26歳

210

1.6

5.4

8.4

15.4

10.2

22.9

61.3

27歳

277

0.0

6.5

9.1

15.3

8.8

12.8

67.9

28歳

281

3.6

12.9

8.7

11.2

5.2

16.3

62.2

29歳

310

0.6

8.0

5.9

11.6

8.1

27.4

56.4

2

金融教育の受講内容

- 学んだ内容は、1位：家計管理、2位：資産形成、3位：ライフデザイン
- 18歳-21歳では「お金の使い方、金融トラブル」や、「税・社会保障」「経済の仕組み」などの金融知識に関する学習経験割合が高い

学んだ内容は、1位:家計管理、2位:資産形成、3位:ライフデザイン

- 全体では「家計管理」・「資産形成」・「ライフデザイン」に関する学習経験率が高い
- 20代では、他の年代に比べて「お金の借り方」「お金の使い方、金融トラブル」「税・社会保障」「経済の仕組み」に関する学習経験割合が高い傾向
- 「(学んだが、)内容を覚えていない」割合も、全年代で25.4%

図表5 年代別 金融教育受講内容(対象:金融教育受講経験ありと回答した人) ※複数回答可

		(%)										
	人数	家計管理 (収入や支出 など)	ライフ デザイン (経済計画およ び、仕事や学業、 家庭生活、余暇 生活、老後の生 活など)	リスクへの 備え (保険など)	資産形成 (貯蓄・投資 など)	お金の 借り方 (ローン [奨学金など]、 クレジット)	お金の 使い方、 金融トラブ ルの知識と 対処法	公的年金	税・ 社会保障 (公的医療・ 介護・雇用 保険など)	経済の 仕組み (インフレ・ デフレ・ 為替など)	その他	覚えて いない
全年代	3,423	 30.0	 27.8	20.6	 28.0	13.3	18.6	20.1	22.3	22.0	0.6	25.4
18-29歳	1,021	34.5	31.5	22.2	24.2	19.0	28.8	19.8	29.9	29.9	0.2	19.8
30-39歳	593	29.5	25.2	17.3	26.5	↑ 11.3	↑ 16.4	15.2	↑ 16.0	↑ 22.8	1.0	28.3
40-49歳	647	30.5	30.1	25.2	35.1	↑ 15.4	↑ 17.7	17.5	↑ 20.4	↑ 23.1	0.4	27.0
50-59歳	643	26.7	25.8	19.8	31.1	↑ 9.5	↑ 11.7	19.7	↑ 18.0	↑ 13.0	0.9	31.4
60-69歳	519	25.0	22.9	16.1	24.2	6.1	10.4	30.3	22.4	15.0	0.8	23.5

18-21歳では、金融経済にまつわる知識の学習経験率が顕著に高い

- 18歳-21歳では「お金の使い方、金融トラブル」や、「税・社会保障」「経済の仕組み」などの金融経済にまつわる知識の学習経験率が高い

図表6 年代別 金融教育受講内容(対象:金融教育受講経験ありと回答した人) ※複数回答可

(%)

※赤字は、全年代平均より20%以上高いスコア

人数		家計管理 (収入や支出 など)	ライフ デザイン (経済計画およ び、仕事や学業、 家庭生活、余暇 生活、老後の生 活など)	リスクへの 備え (保険など)	資産形成 (貯蓄・投資 など)	お金の 借り方 (ローン [奨学金など]、 クレジット)	お金の 使い方、 金融トラブ ルの知識と 対処法	公的年金	税・ 社会保障 (公的医療・ 介護・雇用 保険など)	経済の 仕組み (インフレ・ デフレ・ 為替など)	その他	覚えて いない
18歳	18	10.2	19.4	9.1	0.0	10.2	20.5	0.0	20.5	29.6	0.0	51.0
19歳	66	48.6	51.1	21.7	13.9	19.9	40.8	28.7	51.0	53.8	0.0	5.2
20歳	73	35.6	26.4	23.9	21.6	22.0	31.9	21.9	33.9	42.8	2.2	21.2
21歳	75	22.8	23.8	14.2	13.9	21.4	42.4	18.5	28.0	35.2	0.0	25.3
22歳	92	31.5	26.6	15.3	20.8	15.0	36.1	16.5	24.7	28.3	0.0	11.0
23歳	75	36.5	34.1	16.7	24.9	18.3	21.7	11.6	20.0	24.9	0.0	24.9
24歳	128	44.4	36.3	17.8	23.0	22.1	28.5	24.4	30.1	33.0	0.0	15.8
25歳	84	32.3	37.0	26.9	19.7	8.0	32.1	19.2	35.6	15.2	0.0	24.3
26歳	81	25.6	38.7	18.4	25.6	21.3	21.3	21.3	26.0	33.8	0.0	13.8
27歳	89	47.5	44.2	32.5	40.7	15.4	35.1	35.1	42.8	47.7	0.0	8.6
28歳	106	37.8	21.1	37.0	26.1	24.0	27.2	4.4	22.0	14.0	0.0	26.6
29歳	135	24.2	20.3	20.6	32.3	21.2	13.8	21.6	25.1	17.1	0.0	28.4

3

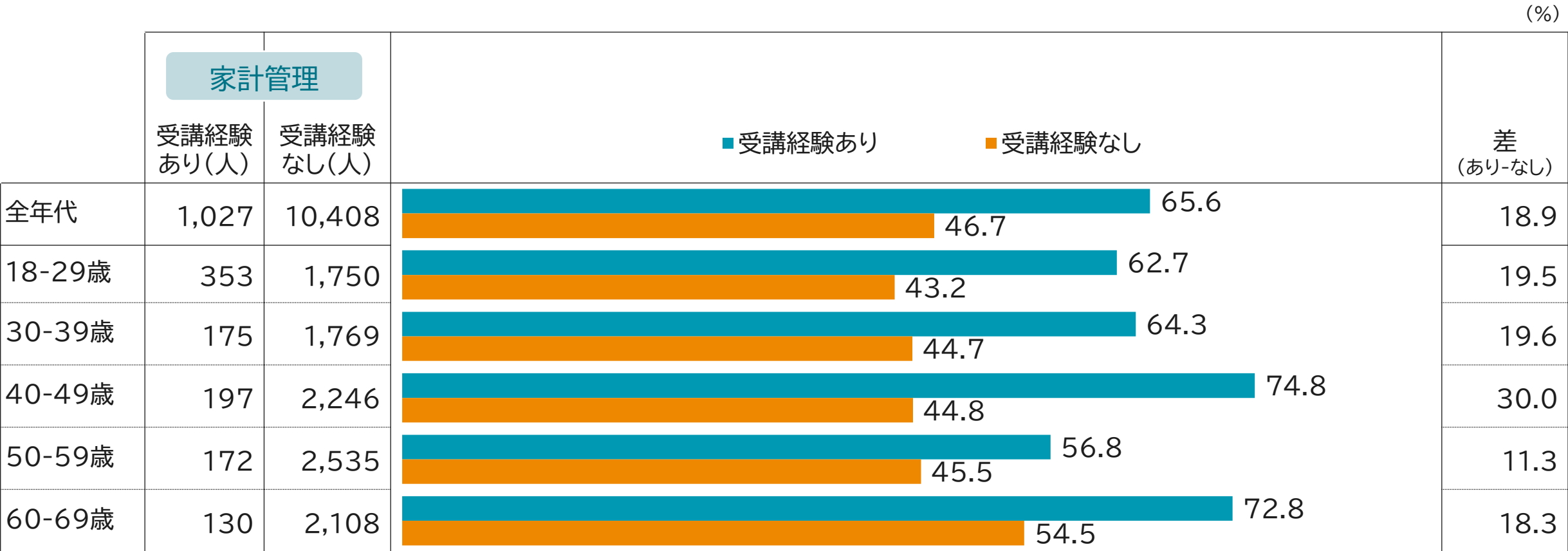
金融教育の効果

- 家計管理を学んだ経験がある人は、家計管理を行っている割合が約2割多い
- ライフデザインを学んだ経験がある人は、ライフプランを立てている割合が約3割多い
- 資産形成を学んだ経験がある人は、積立投資を実践している割合が約3割多い

家計管理を学んだ経験がある人は、家計管理を行っている割合が約2割多い

- 家計管理を学んだ経験がある人のうち3人に2人は家計管理(世帯の1ヶ月の収入額と支出額の把握)を実践
- 学習による家計管理の引き上げ効果はおおよそ2割、40代においては3割

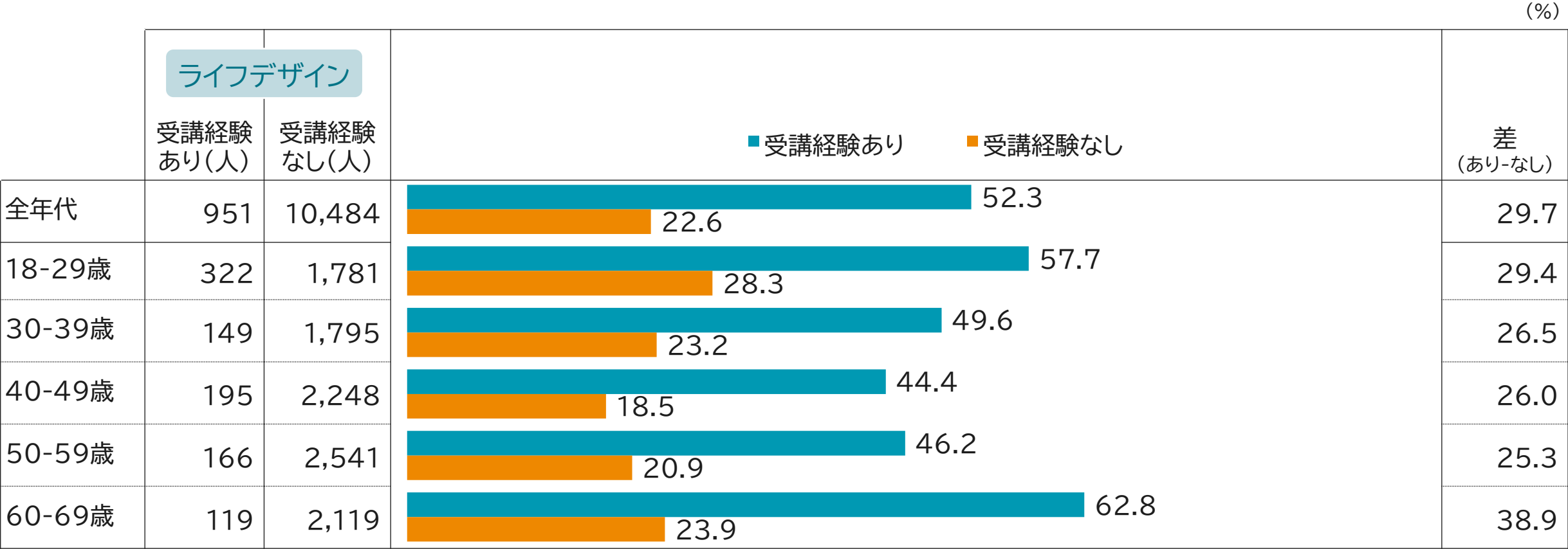
図表7 家計管理に関する教育の受講経験有無別、家計管理ができている人の割合



ライフデザインを学んだ経験がある人は、ライフプランを立てている割合が約3割多い

- ライフデザイン(経済計画および、仕事や学業、家庭生活、余暇生活、老後の生活など)を学んだ経験がある人の半数以上はライフプランを立てている
- 学習による家計管理の引き上げ効果はおおよそ3割、60代におけるセカンドライフプランニング実践の効果が高いものと思料

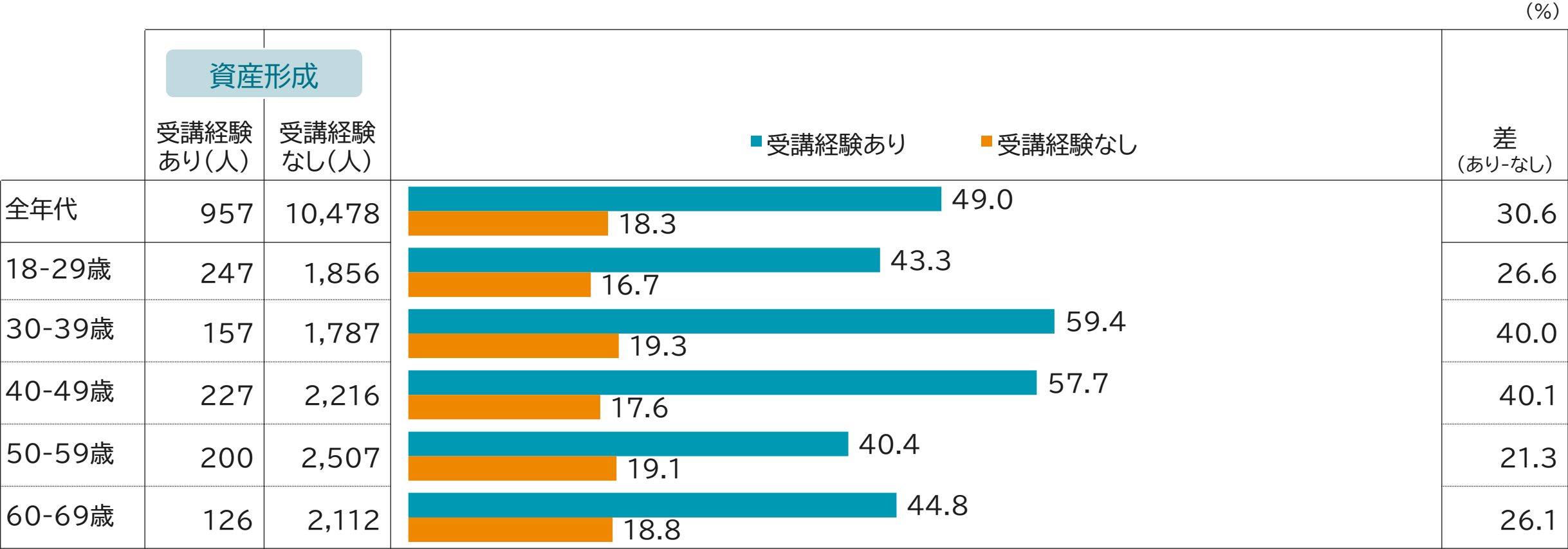
図表8 ライフデザインに関する教育の受講経験有無別、ライフプランを立てている人の割合



資産形成を学んだ経験がある人は、積立投資を実践している割合が約3割多い

- 資産形成について学んだ経験がある人のおよそ半数は積立投資を実践している
- 学習による家計管理の引き上げ効果はおよそ3割、30-40代における教育効果が高い

図表9 資産形成に関する教育の受講経験有無別、積立投資を実践している人の割合



4 Appendix:企業型DCの加入経験による差

- 企業型DCの加入経験がある人は、金融教育受講経験率がおおよそ3倍
- 企業型DC加入経験者が学習した内容は、「資産形成」が最多

企業型DCの加入経験がある人は、金融教育受講経験率がおよそ3倍

- DCの加入経験者は、社会人になってからの教育受講経験が顕著に高い
- DC加入経験がない人に比べて約3倍高い結果に

図表10 企業型DCの加入経験別 金融教育受講時期 ※複数回答可

		(%)						
人数		小学校に入る前	小学生	中学生	高校生	短大生・ 大学生・ 大学院生・ 専門学校生	社会人 (働き出してから)	これまでに そのような 授業・教育を 受けたことは ない
Total	11,435	1.0	5.7	5.8	8.8	5.4	15.6	70.1
DC加入 経験あり	2,033	1.5	7.9	6.0	7.6	7.5	34.2	49.9
DC加入 経験なし	8,508	0.9	5.1	5.6	8.8	4.9	12.1	74.2
その他※	894	0.7	6.2	7.0	12.6	5.7	6.1	76.3

※就労経験がない人

企業型DC加入経験者が学習した内容は、「資産形成」が最多

- 企業型DC加入経験者は、金融教育受講経験者全体と比較して「資産形成」の受講経験率が顕著に高い
- 一方で、「ライフデザイン」「リスクへの備え」「公的年金」の受講経験率はDC加入経験者の方が高いものの、その差は限定的。「家計管理」はDC加入経験者の方が低い結果に

図表11 企業型DCの加入経験別 金融教育受講内容(対象:金融教育受講経験ありと回答した人) ※複数回答可

		(%)										
人数		家計管理 (収入や支出 など)	ライフ デザイン (経済計画およ び、仕事や学業、 家庭生活、余暇 生活、老後の生 活など)	リスクへの 備え (保険など)	資産形成 (貯蓄・投資 など)	お金の 借り方 (ローン [奨学金など]、 クレジット)	お金の 使い方、 金融トラブ ルの知識と 対処法	公的年金	税・ 社会保障 (公的医療・ 介護・雇用 保険など)	経済の 仕組み (インフレ・ デフレ・ 為替など)	その他	覚えて いない
Total	3,423	 30.0	 27.8	20.6	 28.0	13.3	18.6	20.1	22.3	22.0	0.6	25.4
DC加入 経験あり	1,019	26.1	34.9	26.8	42.7	15.5	15.8	21.1	19.5	18.6	0.2	15.7
DC加入 経験なし	2,192	32.2	25.6	18.7	22.7	12.9	19.6	20.3	23.6	23.8	0.8	28.0
その他※	212	26.5	16.4	9.7	11.9	5.8	20.8	14.3	22.3	19.8	0.8	44.5

※就労経験がない人

ご留意事項

- 本資料は、情報の提供を目的として作成しており、具体的な対応についてはお客様のご判断により行っていただくことになります。お客様のご判断によって行ったご対応の結果生じた損害につきましては、弊社は一切責任を負いません
- 本資料は、作成日において弊社が信頼できると判断した情報等に基づいて作成したものであり、その情報の正確性・確実性について保証するものではありません。また、今後の金融情勢・社会情勢等の変化により、内容が変更となる場合がございます
- 本資料に係る一切の権利は、他社資料の引用部分を除いて三井住友信託銀行に属し、いかなる目的であれ本資料の一部または全部の無断での使用・複製は固くお断り致します。本資料の一部または全部を転載・複製する際は、弊社にご照会くださいますようお願い申し上げます

ご照会先

三井住友信託銀行
三井住友トラスト・資産のミライ研究所
mirai@smtb.jp

作成日:2025年8月12日
564-25-2029